

一 般 質 問 通 告 書 一 覧 表

平成 28 年 3 月 3 日招集
第 39 回嘉手納町議会定例会

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
1	15 番 田仲康榮	1. 米軍機の 夜間飛行・活 動停止を求 め、健康障害 の防止を	<p>第 3 次嘉手納基地爆音訴訟で北海道大学大学院工学研究院（環境衛生学専門）の松井利仁教授は、嘉手納基地周辺の夜間騒音の影響を基地周辺の人口で換算して、「夜間騒音によって 1 年間に心筋梗塞や脳卒中で 4 人が死亡している」と衝撃的な証言を行った。また、騒音で心疾患や脳疾患の罹患者も 30 人に上ると証言し、軽度以上の睡眠障害に罹患している嘉手納基地周辺の住民は、約 1 万人以上いると算出し、高血圧の住民も 1,000 人いると話し、「大規模な公害病」だと指摘した。松井教授の証言は、昼間の激しい爆音による健康被害とともに夜間の軍用機の飛行、地上活動がどれだけ町民に身体的、精神的影響を与えているかが明確にされた。いまこそ、嘉手納基地の夜間飛行、地上活動の停止を日米両政府、米軍に強く求めていくべきだと考える。町当局の対応を伺いたい。</p> <p>(1) 松井教授の証言、指摘をどう受け止めるか。 (2) 夜間飛行・地上活動停止を日米両政府、米軍に要求すべきだが対応は。 (3) 嘉手納基地の夜間飛行活動の騒音実態調査を行い、公表すべきだがどうか。 (4) 嘉手納基地周辺住民を対象にした健康調査をすべきだがどうか。(国、本町独自、三連協等で調査を) (5) 今回の問題解決と F22、F16 外来機飛来反対の住民大会を開催してはどうか。</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
1	15 番 田仲康榮	2. 米空軍第 353 特殊作戦群の開発事業を中止させ、埋蔵文化財の保護を図れ 3. 県と連携し、航空機の排気ガス（悪臭）の除去対	<p>嘉手納基地第 353 特殊作戦群エリア開発事業に伴う米空軍の試掘調査（平成 25 年 10 月 31 日～平成 26 年 5 月 6 日。246 ヲ所）で開発計画の一部から埋蔵文化財。土器片と石材（石器の材料）が発掘された。この試掘の結果が平成 28 年 1 月 25 日付で米軍の担当部署から嘉手納町教育委員会に照会された。これに対し、町教育委員会は米軍に対し文化財埋蔵物の可能性の有無について回答し、発見された遺跡に影響を及ぼさないよう開発計画の変更を文書で申し入れている。</p> <p>第 353 特殊作戦群は、米空軍の MC130 特殊作戦機を運用する特殊部隊であり近い将来、後継として CV22 オスプレイを配備する計画が明確にされた部隊である。同部隊の関連施設の開発は嘉手納基地の機能強化、爆音被害に一層拍車をかけるもので、町当局、議会とも反対している開発計画である。町としては当然、開発事業の中止を強く求めるべきであり、町民の貴重な財産となる埋蔵文化財の破壊につながる行為は絶対容認すべきでない。次の諸点について伺いたい。</p> <p>(1) 町教育委の回答の中で「開発計画の変更」とあるが、町の第 353 特殊作戦群の開発事業に対する反対の姿勢と矛盾するがどうか。</p> <p>(2) 埋蔵文化財の出土そのものを保存する立場から開発事業に反対すべきではないか。</p> <p>(3) 重要遺跡として「県指定史跡」として保存は可能か。</p> <p>(4) 米軍側からの回答（町からの返答に対し）は届いているか。</p> <p>(5) 町の今後の対応と三連協としての対応は。</p> <p>航空機のエンジン調整時、離着陸時に発生する排気ガス（悪臭）は、日常的に町民生活に大きな被害を与え、健康障害の危険な因子となり環境破壊の要因となっている。航空機の排気ガス除去は</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
1	15 番 田仲康榮	4. 本町の「子ども貧困対策」の充実・強化を 5. 「2016 年度町民要求実現と施策申し入れ」に対する町の対応を伺う	<p>をすすめるべきだ。次の諸点について伺いたい。</p> <p>(1) 本町の子どもの貧困率は。実態調査を実施しているか。</p> <p>(2) これまでの施策の取り組みと成果、実績は。</p> <p>(3) 生活困窮世帯に対する学童保育料の低額はあるか。</p> <p>(4) 保育料の所得階層の内訳と措置数は。</p> <p>(5) 生活面、就労面、教育面での支援体制はどうか。</p> <p>(6) 就学援助の実態は（対象者、申請者、支給実態の数）</p> <p>(7) 就学援助金制度の周知と実際は。</p> <p>(8) 貧困対策支援員の配置は。支援内容は。</p> <p>(9) 子どもの居場所づくりの運営支援の計画は。</p> <p>(10) 町の貧困対策の推進計画の策定はいつか。</p> <p>2016 年度の国家予算は軍事費が初めて 5 兆円をこえるなど安倍政権による戦争法施行に向けた暴走、消費税 10% 実施による国民生活の破綻など、安倍政権の悪政もち込みを許さない自治確立が重要となっている。町民の生命、安全、財産、医療、福祉、地域経済を守る、4 章 40 項目にわたる「町民要求実現と施策についての申し入れ」を行ったが、町当局の姿勢を伺いたい。</p> <p>(1) 申し入れに対する基本的な町当局の見解を伺いたい。</p> <p>(2) 4 章 40 項目の施策申し入れはそれぞれ重要な課題であり、関係各課に分解して検討すべきだと考えるが、対応を伺いたい。</p>	町長 當山 宏 教育長 比嘉秀勝
2	12 番 金城利幸	1. 町道 39 号線・46 号線工事の進捗状況は	<p>町道 39 号線（水釜通り）と 46 号線（朝潮通り）のバリアフリー化事業の進捗状況を伺う。</p> <p>安心安全な歩道の改修を求めてきた地域の人々にとって長年の願いが実現となる。希望要請から年月が過ぎ、その完成を見ることなく、故人となられた先輩方もいるが、今そして次世代にむけて</p>	

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
2	12 番 金城利幸	<p>1. 町道 39 号線・46 号線工 事の進捗状 況は</p> <p>2. 大気汚染 調査・悪臭調 査の位置付 けと地域特 性の関連は</p> <p>3. 道の駅機 能拡充実施 設計の内容 と今後の進 捗状況は</p>	<p>の快適環境の創造に期待は大きい。</p> <p>昨年 9 月の一般質問で地権者や利用者はじめ意見や希望は柔軟に対応して、トラブルや利害の整合性には細心の注意を求めている旨を述べた。答弁では、前回の南区と西区の住民説明会に続き、年内に設計案をまとめ、年明けには再度関係者への説明を行い調整して 3 月にはまとめたことだった。</p> <p>新年度の新規事業として、大気汚染調査共同研究（嘉手納飛行場周辺の航空機排出ガス関連調査）と悪臭調査（工場や事業場で発生する悪臭調査で米軍基地は対象外）が実施される。次の 2 点について伺う。</p> <p>(1) それぞれの調査目的と時期や場所など手法内容は。</p> <p>(2) この 2 件の調査には、嘉手納基地を抱える嘉手納町の生活環境に特化した影響も予想されないか。その検証を目的に合理的な手法と対応ができないか。</p> <p>道の駅機能拡充に伴う実施設計の内容について伺う。</p> <p>當山町長は施政方針 27 年度で、「本事業の整備事業で産業振興施設の拠点」、28 年度の施政方針では「観光産業の拠点施設」として最大限の活用を図るとしている。</p> <p>今回の再開発は即戦力として商業的資源の少ない本町にとってまさに、さらなる発展の絶好のチャンスである。それだけに年間 50 万人の来訪者や県内外の人々から継続とさらに支持される確かな施設（集客マグネット）を創造することが命題である。</p> <p>そのためには、焦ることなく、時間はかけても確かな専門技能（ソフト＋ハード＝売上の増額）</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
2	12 番 金城利幸	<p>3. 道の駅機能拡充実施設計の内容と今後の進捗状況は</p> <p>4. 民俗資料館等基本構想策定業務について</p> <p>5. 観光ガイド養成支援と子ども教育への活用を</p>	<p>を持つ専門家の指導力が絶対条件であることを町長の認識として再確認したい。</p> <p>いま商業施設運営責任者（デベロッパー）としての町は、深い考察力と企画力が必要であると考える。</p> <p>そこで沖縄市の「コリンザ」、那覇市の「とまりん」、「テンプス館」そして宜野座村の「カンナタラソ」等の生い立ちと事業運営の苦労の実態から学び、「道の駅かでな」独自の生き方を明確にしなければならない。内容と手法を伺う。</p> <p>明治・大正・昭和の世代が慣れ親しみ、成年祝・結婚式・芸能祭・町民新年会などはじめ沢山の思い出を残してくれた旧中央公民館。かなりの時間が経過したが、今後の展開について、これまで様々な利活用について検討されてきたと考える。</p> <p>新年度は新規事業として老朽化に伴う民俗資料館等のリニューアルに係る基本構想策定業務が組まれている。旧中央公民館に係るその手法や内容について伺う。</p> <p>観光ガイド養成は県内外の地域活性化の一環として活発化している。本町の観光開発事業にあっても極めて重要な施策として支持したい。</p> <p>そこで次の4点を伺う。</p> <p>(1)本町の目指す事業目的とその内容と実践行程展望。</p> <p>(2)基本目的を推進しつつも調整と段階を踏まえて、本町の子どもの教育の一環として町の子どもをツアー客（外来）と同様の体験をさせることによって、子どもたちに町の歴史を学ぶ機会を実践しては。</p> <p>(3)(2)同様に町民（在住者・移住者）希望者への活用で嘉手納町を再認識する機会にしては。</p> <p>(4)ガイド養成受講者には県外のガイドとの交流</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
2	12 番 金城利幸	5. 観光ガイド養成支援と子ども教育への活用を	と体験実習を含めて県外該当地での体験学習を実施すること。 (5) (1)～(4)までの予算の確保を(一括交付金・自主財源：人材育成基金活用等)	町長 當山 宏 教育長 比嘉秀勝
3	9 番 當山 均	1. 婦人会の組織化及び活性化に向け積極的な支援・取り組みを 2. 米軍機騒音の授業への影響は	平成 25 年 9 月定例会一般質問で取り上げ、「婦人会組織が弱体化・消滅という危機に直面する前に積極的にアドバイスや支援を行うこと」を提案したが、残念ながら町婦連は次年度から休会する方針を決めたと聞く。 まずは、各区婦人会の組織化及び活性化に向け、行政として積極的な支援・取り組みに向け再提案する。 (1) 各区婦人会及び町婦連の活動状況、実態、これまでの行政としての取り組み及び課題等を伺う。 (2) 各区婦人会の組織化及び活性化に向けては、各区自治会との連携・調整、相談の窓口、運営等に関する助言・指導を行う担当職の配置が必要と考える。ついては、「町社会教育指導員設置に関する規則」を一部改正し、3 年を目途に暫定的に町長部局に同指導員を配置し、行政として積極的に支援することを提案する。町長の見解をお伺いしたい。 県教育庁が昨年 6 月に嘉手納町・宜野湾市・北谷町の 3 市町内の公立小中高校 27 校を対象に、米軍機騒音の授業への影響に関するアンケートを実施し、半数以上の 15 校が何らかの影響がある。12 校が特に影響なしとの回答があったことが、今県議会で明らかになった。 (1) 本町 2 小及び中学校のアンケートに対する回答内容を伺う。	町長 當山 宏 教育長 比嘉秀勝

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
3	9 番 當山 均	3. 基地の諸 問題に強い 決意を持っ て対応を	<p>計画が報道された。この件に対しても、今後の対応・取り組みに対する町長の考えをお伺いしたい。</p> <p>(3) 相次ぐ外来機の飛来により、嘉手納基地が騒音激化していることに対し、翁長県知事は「現場視察する重要性を強く感じている。できるだけ早く視察したい」と述べ、自ら実態把握に乗り出す考えを強調した。知事が視察に来るのを待つのではなく、視察に来る際には騒音問題のみならず悪臭問題、その他基地被害を訴え、つぶさに視察して貰えるよう主体的に視察を要請すべきだと考える。町長の見解をお伺いしたい。</p> <p>(4) 中川県議が「嘉手納基地周辺で夜間・早朝の騒音発生が恒常化しており、原因の機種を含めた詳細な実態調査の実施」を求め、県知事は実施を検討する考えを示した。夜間・早朝の騒音発生実態調査の実現に向け、中川県議と連携し、町としても積極的に県知事に要請すべきだと考える。町長の見解をお伺いしたい。</p> <p>(5) 平成 26 年 6 月定例会にて德里議長が取り上げた問題だが、嘉手納基地より南の米軍基地の返還・統合計画に関連し、牧港補給地区とキャンプ瑞慶覧の倉庫群など一部施設の読谷村トリー通信施設への移転を読谷村が受け入れることを表明した。米軍車輛のみならず従業員・業者等が、水釜大木線、久得牧原線等の町道を通行すると、特に朝夕の交通量が増加し、児童生徒の通学や住環境への悪影響が懸念されている。</p> <p>ついては、米軍及び防衛局に対し、その対策の検討及び周知徹底を強く要請するとともに、読谷村に対しても協力依頼を行うべきと考える。町長の見解をお伺いしたい。</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
3	9 番 当山 均	5. 町いじめ 防止対策推 進条例の早 期制定を 6. 若年層の 選挙への関 心を高める ため「学生議 会」の開催を	<p>され、もうすぐ1年が経過する。前回の提案に対しては「まず、基本方針を策定し様子を見ながら検討していきたい」との答弁であったが現時点での見解・方針を伺う。</p> <p>公職選挙法が改定され、7月予定の参院選から18歳からの投票が始まる。多くの県内選管に対するアンケートから、若年層の選挙への関心を高める「主権者教育の主体は教育現場」との認識を持っていることが明らかになった。</p> <p>今回は、若年層の選挙への関心を高める一つの取り組みとして「学生議会」の開催を提案する。対象はできれば嘉手納高校1～2年生が望ましいと考える。町の見解を伺う。</p>	町長 当山 宏 教育長 比嘉秀勝
4	7 番 仲村渠兼栄	1. 観光事業 について	<p>嘉手納町町制施行 40 周年の今年、嘉手納町観光大使に芸能界のトップスター「郷ひろみ」が選任された。</p> <p>なぜ「郷ひろみ」と驚きと歓喜が出た。嘉手納町を音楽の町に創り上げていきたい。音楽を通してまちづくりを先頭に立つ当山町長の姿は間違いなく郷ひろみさんからは好印象ということです。</p> <p>芸能界のトップスターが、わが町の観光大使に選任されたことで、町の観光事業は飛躍の年にならないといけない。</p> <p>そこで嘉手納町の観光大使「郷ひろみ」が町と、今後どのように関わっていくのか町民は期待する。また、町の観光事業について、道の駅を中心に展開していくと思われる。そこで3点伺う。</p> <p>(1)観光大使「郷ひろみ」に期待することは。 (2)今後の観光事業の展望は。 (3)うたの日コンサート 2016 にゲスト出演者として依頼する予定は。</p>	町長 当山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
4	7 番 仲村渠兼栄	2. 沖縄国際映画祭に積極的な参加を 3. 地産地消（商）推進する戦略をつくれ	<p>第8回沖縄国際映画祭が4月21日～24日那覇市・宜野湾市・北谷町等で開催される。</p> <p>今年のテーマは「島ぜんぶでおーきな祭」だ。みんなでおーきなこと、やろう。これまでよりもっとおーきくて、もっと面白くて、もっと自由で、もっと大胆で、もっとハチャメチャで、もっと笑えて、もっと泣けて、もっとあったかくて、もっともっと沖縄みんなが主役になれるイベントにしたいと実行委員会は意気込んでいる。また、第8回沖縄国際映画祭のピーアルにガレッジセールが先頭になり県内各市町村に広報活動を展開し、3月1日には、嘉手納町長への表敬訪問を行った。</p> <p>観光資源の少ない嘉手納町としても、国際映画祭に関わることで、嘉手納町を県内外へアピールできるチャンスがある。映画祭のイベントが道の駅かでなで開催できれば、道の駅の活性化ができると思う。そこで2点伺う。</p> <p>(1) 沖縄国際映画祭のメリット・デメリット。</p> <p>(2) 道の駅かでなにイベント誘致の予定は。</p> <p>地産地消を推進する戦略会議設置を提案する本町は、當山町長公約の目玉である学校給食費の無料化が実施されている状況の中で、学校給調理場の職員の嘉手納町の農水産物を活用した料理が少しずつ献立に並んだ。また、学校給食調理場の民間委託がどのような展開が起きるのか町民はとても関心がある。さらなる地産地消を目標に戦略会議を設置して、地産地消（商）の推進計画を策定することが必要であると考え。</p> <p>地元の食材を作りみんなで食べてみようという趣旨で、農業者・農協・漁業組合等、町が連携し学校給食に供給する流通システムの構築を目指し、推進計画を策定することで、嘉手納町の地産地消はより強固になる。そこで4点伺う。</p> <p>(1) 地産地消から前年度の嘉手納町農水産物の供</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
4	7 番 仲村渠兼栄	<p>3. 地産地消（商）推進する戦略をつくれ</p> <p>4. 寄付者等による「まちづくり自治委員会」設置を</p> <p>5. 町の危機管理体制を問う</p>	<p>給は。</p> <p>(2) これまで農業者・農協・漁業組合などとの連携した会議は行ったか。</p> <p>(3) 戦略会議を行う予定は。</p> <p>(4) 推進計画を策定する予定は。</p> <p>ふるさと納税制度を契機に町への寄付金を財源として、挑戦的で機知に富んだ取り組みに充てる「まちづくり自治制度」の設置を提案する。寄付者による「嘉手納町のまちづくり」が目的で町もいくらか財源を拠出し、年間の一定の予算額と事業実施に活用する。また、基金としての積み立ても検討する。使途については寄付者等の中から希望者を募って構成し、町と議論を重ねて決定する仕組み。そこで伺う。</p> <p>(1) 寄付者等による「まちづくり自治委員会」設置の予定は。</p> <p>「2月26日午後3時34分に那覇市庁へ爆弾を仕掛ける。」との犯行メールがあった。</p> <p>那覇市・沖縄県教育庁は犯行前日の2月25日16時40分に、本島内各市町村教育委員会、教育長、本島内各教育事務所長、本島各県立学校長へ「那覇市庁関連施設」への爆破予告情報及び対応について（第1報）をFAXした。件名の内容の中に「各市町村教育委員会におかれましては、貴所管の幼稚園・小学校・中学校への周知をお願いします」「各教育事務所においては、このことについてご承知おき下さい」とある。犯人はまだ逮捕されていない状況の中で嘉手納町危機管理体制の対応を伺う。</p> <p>(1) FAXの送信先は。</p> <p>(2) 町長及び総務課・子ども家庭課への連携は。</p> <p>(3) 私立幼稚園、認可園、認可外の保育園等への連絡は。</p>	<p>町長 當山 宏</p> <p>教育長 比嘉秀勝</p>

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
4	7 番 仲村渠兼栄	5. 町の危機管理体制を伺う。	(4)各区公民館・公共施設への連絡は。 (5)今後の危機管理体制の構築する予定は。	町長 當山 宏
5	6 番 照屋唯和男	1. 嘉手納町住環境整備基本計画の調査内容、進捗状況は 2. 若手職員プロジェクトチームの立ち上げを	(1)現時点での空き地、空き家の件数は。また、有効活用できる状況か。空き地、空き家にしてきた理由の調査内容は。 (2)人口、世帯の動向及び住宅の所有関係等の統計による居住特性は。 (3)公営住宅の入居世帯状況は。 (4)住環境に関する町民意向の把握として、調査されたアンケートの回収率と把握できた回答の状況は。 (5)子育てファミリー世帯への家賃助成制度取り組み、家賃補助としての施策はどのように考えているか。 (6)住宅リフォーム補助金の拡大から2世帯住宅の改装に対して更なる補助していけないか。 (7)国有地の有効活用に買い上げて民間とのPFI事業に取り組み所得にあった子育て支援の若者向けの福祉的な住宅建設計画ができないか。 (8)嘉手納町住環境整備基本計画の今後の取り組み方針及びスケジュールは。 若手職員の発想を行政改革やまちづくり政策に反映するためのプロジェクトチームを設置し町長が決めたテーマ（例として観光目玉となる資源の活用、アピール方法）に若手職員が、調査、研究を行い、直接、町長へ提言を行い町政の改革、改善に積極的に取り組む若手職員の育成を推進していけないか。	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
5	6 番 照屋唯和男	3. 公共施設 環境美化ボ ランティア 助成 4. 健康推進 奨励金制度 の設立を	(1)助成対象となる地区は何箇所あるか。また、 助成金は一律 10 万円以下か。 (2)助成の対象としない条件に、団体の運営費及 び人件費並びに施設の維持管理費とある。どの ような状況のことをいうか内容を説明しても らいたい。 (3)助成金の交付を受けようとする者は、町長に 年間活動計画書の提出が求められ、さらに活動 報告書を活動実施ごとに作成し提出すること が決められている。意図するところは何か。 (1)国民健康保険加入状況。 人口。世帯数。国保被保険者数（年平均） 国保加入世帯（年平均）。国保加入割合 (2)一人当たりの医療費、過去 4 年からの状況 嘉手納町。県内での順位。金額。 沖縄県。金額。前年度比。 全国。金額。前年度比。 (3)国民保険特定健康調査の受診状況。 対象者数。受信者別。集団。個別。人間ドック 受診率。嘉手納町。沖縄県。全国。 (4)4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までの 1 年間、国 民健康保険の被保険者でかつ保険診療をまっ たく受けなかった世帯がこれまで何件あるか。 (5)40 歳以上の被保険者(特定健康調査対象者) がいる場合に、対象者で毎回特定健康調査を 受けている世帯は何世帯あるか。 (6)上記を満たし、さらに保険税を完納している 世帯へ健康推進奨励金を年 1 回支給する保険事 業ができないか。	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
6	3 番 安森盛雄	<p>1. 学習支援サポーターの現状は</p> <p>2. 通り会活性化の現状は</p> <p>3. 特産品への支援は</p> <p>4. 嘉手納ビーチをつくる予定は</p> <p>5. 深夜の暴走族対応策は</p>	<p>(1)27年度の現時点での各学校のサポーターの現状は。</p> <p>(2)28年度の募集状況は。</p> <p>(1)各イベント名と補助金額は。(資料提供)</p> <p>(2)現在ある通り会、または組合等へのイベント補助金の決定はどのように誰が決めるのか。</p> <p>(1)現在の認定業者数と特産品の商品名は。(資料提供)</p> <p>(2)現在実施している町認定の特産品への支援策は、どのようなものがあるか。</p> <p>(3)認定期間は。</p> <p>(4)特産品業者限定の部会を造る予定は。</p> <p>(1)現在までに嘉手納ビーチを町民から要望等があったか伺う。</p> <p>(2)町内にビーチがつけられる場所はあるのか伺う。</p> <p>(3)嘉手納マリーナを共同使用が出来ないか伺う。</p> <p>(4)過去に嘉手納マリーナを共同使用するという事を企画したことがあるのか伺う。</p> <p>(5)共同使用した場合の試算はどのくらいか伺う。</p> <p>以前から夜間の暴走爆音について質問をした件で、当局はどのような対策をしたのか伺う。</p>	町長 當山 宏 教育長 比嘉秀勝
7	1 番 宇榮原京一	1. さらなる商工振興の充実を	<p>町にとって、中心地を再生することは町全体を元気にさせる重要な課題としてあり、中心地にある地域資源を活かして町民にとって誇れるまちに、訪れる人に楽しく思い出が生まれるまちにすることが必要である。</p> <p>昨今、消費者ニーズの多様化や交通体系の急速な伸展等で郊外型へと変化し、小売商業者数の減少や空き店舗の増加などで商店街を取り巻く環</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
7	1 番 宇榮原京一	1. さらなる 商工振興の 充実を	<p>境は非常に厳しい状況が続いている。本町では、カンフル剤として「かでな元気プロジェクト事業」を実施しており、その事業の検証と、また、今後の商工振興の充実をどのように推進するか、以下を問う。</p> <p>(1) 情報発信支援事業の内容と成果は。</p> <p>(2) やる気支援事業の内容と実績は。</p> <p>(3) 事業者立地支援事業の内容と実績は。</p> <p>(4) イルミネーション事業に伴うイベント実施の内容と成果は。また、今後イルミネーション事業はどのように。</p> <p>(5) やる気応援利子補助金事業の内容と実績は。</p> <p>(6) 現在の中心商店街の空き店舗の状況は。</p> <p>(7) 新町商店街の通り会（商店街組合）としての組織の立上げは。</p> <p>(8) プレミアム商品券は、大型店舗以外の商店街において、どれだけの効果をもたらしているか。</p> <p>(9) 八茶坊向かいの駐車場は、今後どのような管理を行うか。</p> <p>(10) 八茶坊隣の町有地は、町民が自由に駐車場として利用しているが、車乗り入れ防止のポールに接触事故を起こす可能性もあり、整備が必要と考えるが。</p> <p>(11) 商工業者の販売促進に係わる営業費用として、チラシのポスティング費や新聞折り込み等の宣伝広告費用を助成することができないか。</p> <p>(12) 既存事業者及び新規事業者が集客力を向上させるために店舗改装の工事及び店舗で使用する備品の購入費用を助成することが出来ないか。</p> <p>(13) 新町通り商店街の入り口に、目印としてのアーチの設置は出来ないか。</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
8	2 番 古謝友義	<p>1. 今後の町財産運用を問う</p> <p>2. 景観を見直せないか</p> <p>3. 音楽による町の活性化策を問う</p>	<p>日銀が発表したマイナス金利政策により、銀行の預金金利も軒並み下がり 0.001%と過去最低水準になった。そこで以下を問う。</p> <p>(1) 現在、運用している金額は。</p> <p>(2) 今後、運用可能な金額は。</p> <p>(3) おきなわ証券が発売した「レセプト」債は購入していないか。</p> <p>(4) 国債が主だと思うが、株式を購入する考えはあるか。</p> <p>(5) 今後の運用スタンスは。</p> <p>先に 7 番議員から質問があった県道 74 号線について。前は中央分離帯及び歩道の雑草の件であったが、今回は歩道側の街路樹の件である。道の駅からロータリーに向けて街路樹があるが、あれが木なのか目を疑う。特にニライ消防を過ぎたあたりから基地の遮音壁とマッチしてゴーストタウンと間違われる。そこで以下を問う。</p> <p>(1) 県が嘉手納町のイメージを悪くしていると思うが、町はどう判断しているか。</p> <p>(2) 県に対し行動を起こせるか。</p> <p>(3) 県に要請しても時間がかかると思うがどう考えるか。</p> <p>(4) 町が県に代わり植栽を町木の黒木に植え替え、代金を県に請求できないか。</p> <p>(5) 負のイメージから脱却し、明るいまちづくりの第一歩だと思う。見解を問う。</p> <p>町長の施政方針の中で「うたの日コンサート」を誘致するとあるが、その他の方策がない。そこで以下を問う。</p> <p>(1) どのような形で音楽を広めていくのか。</p> <p>(2) 文化センターがリニューアルされ、素晴らしいホールになった。今後、利用が増加すると見込まれるか。</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
8	2 番 古謝友義	3. 音楽による町の活性化策を問う 4. 兼久海浜公園リニューアル計画を問う	(3)町内にはカラオケサークル等多数の音楽ファンがいる。援助は考えているか。 (4)兼久海浜公園がリニューアルの予定があるが、そこに野外音楽堂をつくったらどうか。 兼久海浜公園のリニューアル計画(案)から質問する。 (1)現在の駐車場と新たに計画している駐車場の収容台数は。 (2)新たにつくる駐車場は町民がいつでも利用が可能か。 (3)テニスコートと駐車場を入れ替えて、新たにつくる理由は。	町長 當山 宏
9	10 番 福地 勉	1. 日米地位協定について 2. 行政区での地域活性化について問う	(1)町長の見解を問う。 (2)今議会で「日米地位協定の見直しに関する要望決議」が行われたが、行政としても動いてほしいと要望するが、今後どのような行動していただけるかを問う。 (1)施政方針の中で 6 区自治会関連の基本方針案が示されなかったが、自治会の担うソフト面の活動、老人会、婦人会、青年会、子供会、デイケア等いうまでもなく地域住民が日常的に集う場として、町の活性化にはなくてはならないと思う。町長の方針を伺う。 (2)町婦人会について聞く。 ①町の婦人会の現状を各区別に説明を。 ②婦人会の連合としての活動の現状と解散の方向と聞いたが事実か。解散を望んでいるものは関係者にはいないと思う。事実とすれば実情と町としての見解と対策を問う。解散は避けてほしいと願うが。	町長 當山 宏 教育長 比嘉秀勝

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
9	10 番 福地 勉	2. 行政区での地域活性化について問う 3. 中心市街地の現状と今後の活性化策を聞く	(3) 老人会、青年会、子供会等自治会が抱える悩みを聞き、行政で手助けできることはないか、お聞きする。 (1) 再開発駐車場有料化後の現状を聞く。 ① 運営経費のと収入の差額は。 ② 利用者や周辺企業の有料化への判断は。使用者数は増えたか、検証し結果を示せ。有料化以前と有料化後の周辺店舗の売上げの推移等、具体的データを示して説明を求める。 ③ 有料化後、再開発地域への利用者数と来訪者数の伸びは何%か聞く。 ④ 2 時間以内利用者と料金支払者の比率は調べたか。 (2) 最近、飲食業を中心に中心市街地の空き店舗が埋まってきた。町としての見解、展望、今後定着してもらうための施策を問う。 ① 空き店舗事業でこれまで町内で創業した店舗数、職種定着率を示せ。 ② 店舗の収益、売上げは営業を続けていけるかのできるだけの収入を上げているか調査しているか。その結果は。 ③ 継続的支援は必要か、見解を伺う。 ④ 空き店舗事業を行わないでも店舗が増えていく中心市街地の賑わいをつくるのが根本的な商店街の発展につながる。以前の活力を取り戻すには何が足りないか、どのような手段が必要と分析しているか町としての意見を伺う。 (3) 行政が今後の中心地市街地に求める機能、形態を示せ。町外から新たな買い物客を呼び込める商店街をつくるのか、町内だけの需要を満たせば良いと判断しているか見解を聞く。 (4) 商店街活性化の質問をするたびに商工会に頼	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
9	10 番 福地 勉	3. 中心市街地の現状と今後の活性化策を聞く	っている様子が行政側に伺える。行政内に流通、商業の専門家が必要と考えている。いつも頼りなさを感じるが行政のシステムはこのままで良いか伺う。	町長 當山 宏
10	5 番 新垣貴人	1. 防災行政について 2. 子どもの貧困対策について 3. マイナンバー制度について 4. 若年層の定住化対策について	(1)行政が主体となった避難訓練の実施を。 (2)災害弱者である要援護者の把握は行われているか。 (3)戸別無線受信機の設置における検討結果は。 (1)新年度における具体的な取り組みは。 (2)孤食を防ぎ、豊かな食育を実現する環境の構築を。 (3)保険料滞納のある世帯でも、子どもは医療措置を受けられるように、子どもの分の国民健康保険証の発行を。 (1)個人番号カードの取得状況は。 (2)今後、町が想定する個人番号カードの活用方法は。 (3)個人番号カードは、コンビニでの住民票受け取りや図書館カードや印鑑証明カード等の代替品として、様々な用途があると思うが町の見解は。 (1)公営住宅への入居待機人数は。 (2) (1) の内、若年層の割合は。 (3)新築やリフォーム等に対する補助金支給、固定資産税の減税、免税や若年層に特化した公営住宅の建設等、色々な定住化対策が考えられるが、町の見解は。	町長 當山 宏 教育長 比嘉秀勝

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
10	5 番 新垣貴人	5. 西浜区コミュニティセンターの建替えについて	(1)現時点での行政側の構想を伺う。 (2)建て替えの計画策定に際し、区民からの意見聴取の場を設けていただきたい。	町長 當山 宏
11	13 番 奥間常明	1. 子どもの貧困対策について 2. 高齢者を対象とした「町内タクシークーポン事業」実施を 3. 西浜区学習等供用施設建設について	<p>平成 28 年 2 月 8 日、県の「県子どもの貧困対策推進計画」（仮称）の素案がまとまり、34 項目の目標値を掲げ、2016 年から 21 年までの 6 年間実施される運びとなった。（新聞資料で提出）これらの子どもの貧困に関する指標と目標値について、嘉手納町はどのようになっているか。</p> <p>以前から嘉手納町老人クラブ連合会の方々より、「町内無料巡回バス」の要望があり、その実施が待たれるところだが、同様に買い物、通院等の場合、家族に送迎できる人がいない高齢者から「年金だけでは、タクシーを利用したくてもできない」という話しがあった。そこで、一例として町内限定 500 円券 10 枚綴り 5000 円分相当クーポン券を後期高齢者全員へ年数回配付を提案する。</p> <p>28 年度から建設に向けて取り組むことが決定したが既存施設の域を越えて、新施設には子どもからお年よりまで幅広い利活用できるものでなければならないと考える。</p> <p>そこで、地下・地上に可能な限りの構築とし「自治会事務所・児童館等」複合的機能を待ち合わせた他に類を見ない施設建設を提案する。</p> <p>しかし、あくまでも区民総意による区民の望むものでなければならない。</p> <p>わが町は、「世界で最も危険な米軍基地」に三方を囲まれ「世界でも最も危険と隣り合わせている自治体」と言っても過言ではない。</p> <p>過重負担ゆえの狭隘な面積といつまで続くか</p>	町長 當山 宏 教育長 比嘉秀勝

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
11	13 番 奥間常明		分からない基地被害の実状を鑑み「世界で最も優れたコミュニティーセンター」建設実現を要望する。	町長 當山 宏
12	11 番 知念 隆	<p>1. ふるさと納税について</p> <p>2. 子どもの貧困対策について</p> <p>3. 防災行政について</p>	<p>(1)ふるさと納税及びお礼の品について町長の見解を伺う。</p> <p>(2)町外に住所のある役場職員の人数と過去 5 年間のふるさと納税の件数について。</p> <p>(3)全国においては「ふるさと納税」をされた方に対し、お礼の品を送っている自治体が増えている。お礼の品を送ることにより地元の企業にも売り上げが伸びるメリットがある。 本町においても同様の制度を創設し、ふるさと納税の件数を増やし寄付金を活用した活力あるまちづくりに繋げてはどうか。</p> <p>(1)本町における子どもの貧困率は。</p> <p>(2)沖縄県は子どもの貧困対策として 30 億円の基金を創設している。県の基金をどのように活用していくか町としての考えはあるか。町独自の施策は検討しているか。</p> <p>(3)本町の小中学校における就学支援（教材費や修学旅行費の助成等）の状況について伺う。</p> <p>(1)防災行政無線のデジタル化について、現在の進捗状況と今後の見通しは。（県内のデジタル導入状況等）</p> <p>(2)岐阜県の瑞浪市では防災対策として、防災ラジオを全国初の全戸無償貸与を昨年 12 月より開始している。本町の防災行政無線は、場所によっては聞こえにくいとの声がある。 聞こえにくい地域を解消するため防災ラジオを全戸に導入してはどうか。</p> <p>(3)津波避難ビルの使用協定状況について。 現在、協定を結んでいる建物はあるか。先月行</p>	町長 當山 宏 教育長 比嘉秀勝

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
12	11 番 知念 隆	3. 防災行政 について	<p>われた西浜区の避難訓練の際、ネーブルカデナ（タバタ）の屋上に避難をしている。</p> <p>西浜区における中高層階を有する民間の建物所有者と使用協定を締結する予定はないか。</p>	町長 當山 宏
13	4 番 奥間政秀	<p>1. 各種証明書発行業務改善を</p> <p>2. 世界のカデナランチュ歓迎の夕べについて</p> <p>3. 青少年センターについて</p>	<p>(1)町民保険課窓口で発行されている種類は。</p> <p>(2)現在の発行業務の流れと会計窓口での待ち時間は。</p> <p>(3)年間を通して繁忙期と閑散期の時期はあるのか。</p> <p>(4)待ち時間短縮による町民サービスが期待できる発売機（手数料券購入）の導入は考えられないか。</p> <p>10月26日から30日まで、5年に1度開催される世界のウチナランチュ大会に海外で活躍されている多くの皆さんが来沖する。迎え入れる県民、町民もワクワクしながら待ち望んでいることであろう。そこで伺う。</p> <p>(1)これまでの第4回大会、第5回大会の歓迎の夕べの取り組みは。</p> <p>①国別の人数。</p> <p>②町民の参加人数。</p> <p>(2)世界のカデナランチュ歓迎の夕べの具体的な取り組み方は。</p> <p>(3)進取の気象・国際性・社会貢献を塾訓としている嘉手納外語塾生の参加は。</p> <p>平成3年に設立された嘉手納町青少年センター。今年25年を迎える。町内の青少年の総合的な相談を行い、青少年の健全育成に寄与し、学校、保護者、地域、関係機関と連携し、不登校児童生徒への支援、非行・問題行動の未然防止に努め、子どもの貧困問題が社会問題となっている今、青</p>	町長 當山 宏 教育長 比嘉秀勝

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
13	4 番 奥間政秀	3. 青少年センターについて 4. 嘉手納外語塾について	<p>少年センターの役割がさらに重要になり、本町の児童生徒が安心して学べる場所とありつづけることと確認している。</p> <p>(1) 青少年センターの施設の予定は。</p> <p>(2) 現在の旧中央公民館がかなり老朽化し、教室内の天井も穴が空き、危険の表示がされている状態をどう考えるか。</p> <p>(3) 青少年センター職員、また、指導員の研修制度はどのように行っているか。</p> <p>(4) 臨床心理士の現在の勤務形態で本町の児童生徒、保護者、教師に対して対応ができていているのか。</p> <p>(1) 卒業式、海外留学報告会が同日に行われているが、別の日に設定ができないか。</p> <p>(2) 外語塾生のボランティアの一つに、放課後町内児童生徒の学習支援と教室の解放ができないか。</p> <p>(3) スピーチコンテストの復活はできないか。</p> <p>(4) 海外留学制度について。沖縄県と本町の芸能、文化の発信についてどのように考えるか。また、海外移住者子弟受入制度で外語塾との交流はどのように考えるか。</p>	町長 當山 宏 教育長 比嘉秀勝
14	14 番 田崎博美	1. ひとり親家庭への支援について	<p>(1) ひとり親家庭の世帯数と支援策の現状と課題について。</p> <p>(2) ひとり親家庭に対するアンケート調査の実施について。</p> <p>(3) 母子自立支援員の体制強化と資質の向上について。</p> <p>(4) 「母子家庭等自立促進計画」の策定について。</p> <p>(5) 制度のわかりやすい情報提供について。</p> <p>(6) 大学などへの進学にあたり給付型の奨学金の実施について。</p> <p>(7) 子どもの居場所の運営支援について。</p>	町長 當山 宏 教育長 比嘉秀勝

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
16	16 番 德里直樹	<p>1. 第4次中部 広域計画に ついて</p> <p>2. (仮称) 中 部市町村会 館の取得に ついて</p> <p>3. 青少年セ ンターにつ いて</p> <p>4. 法定外公 共物管理条 例について</p>	<p>中部広域圏の関係市町村が連携・協力し、広域行政への適切な対応と中部広域圏全体の活性化を図る目的に、地方自治法に基づいて設立された「中部広域市町村圏事務組合」について、本町の取り組みと課題、検証、波及効果について町長の所見を伺う。</p> <p>(1) 第4次中部広域計画の概要及び本町の関わりは。</p> <p>(2) ふるさと市町村圏基金を活用した事業概要及び本町の事業参画の現状と波及効果、課題、今後の方針は。</p> <p>(1) (仮称) 中部市町村会館取得の経緯を伺う。</p> <p>(2) 取得予定施設の概要、事業費、財源は。</p> <p>(3) 取得後の運営は。</p> <p>平成27年9月定例会に旧中央公民館の老朽化に伴う青少年センターへの対応について、提言を行った。当局の対応を伺う。</p> <p>平成25年1月4日、法定外公共物の保全及び適正な利用を図り、もって公共の福祉の増進に寄与することを目的に施行した。条例の周知、取り組み、課題を伺う。</p>	<p>町長 當山 宏</p> <p>教育長 比嘉秀勝</p>